

事業所名 NPO法人にじ  
 こども発達相談センターにじろ  
 放課後等デイサービス

支援プログラム

作成日 2025年 2月 14日

法人(事業所)理念	<p>保護者の皆さんが子どもさんの成長を喜び、笑顔で暮らせるように支援したいと思い、日々療育に取り組んでいます。          そして、親子で安心して育っていくことができるよう関係機関とのつながりにも力をそそいでいます。          親がきつい時、子どももきついかもしれません・・・早期に専門家に相談することで適切なアドバイスがもらえて楽になることもあります。          だから、一人で悩まず、いつでもご相談ください。お待ちしております。</p>				
支援方針	<p>お子さんの「強み」を見つけて「強み」を活かした支援を行います          持続可能で質の高いサービスの実現するために職員の専門性と経験を高め、適切な支援の提供と支援の質の向上に努めます          個別・小集団での療育を提供します 標準化された評価を行いお子さんの発達状況を把握し適切な課題設定を行うなど専門性重視の支援を行います</p>				
営業時間(平日)	9時	30分から	18時	15分まで	送迎実施の有無 なし
営業時間(学校休業日)	8時	30分から	17時	15分まで	
支援内容					
本人支援	健康・生活	<p>来所時の検温や視診、活動中の心身の異変に気付けるよう観察しながら支援します          言語聴覚士により口腔内機能の評価と訓練・作業療法士による心身機能評価と訓練、感覚統合療法等の中で咀嚼・嚥下、姿勢保持、自助具等に関する支援を行います          遊びを通して学習できるような環境(構造化を意識した部屋のレイアウト・掲示)などを整え、特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすく構造化します          小集団療育や個別療育の中でSST、ABAなどを用いてコミュニケーションスキルの向上や社会性の向上を促します          料理やお菓子作りなどクッキング活動などを通して、エプロンや衣服の着脱や道具の操作などの基本的な生活スキルの獲得に向けた支援を行います</p>			
	運動・感覚	<p>それぞれの発達状態に応じて、遊びの中で体幹を使い、鍛えながら、椅子や机を用いた支援において正しい姿勢が習慣づくように支援します          トランポリン・ブランコ・バランスボール体幹を鍛える粗大運動を通して体の土台作りを行い、指先を使う遊びの微細運動につながるように支援します。          感覚の特性に配慮した環境設定を行い、指先を動かす砂遊び・粘土遊び・製作活動を提供します。          遊びを通して、ビジョンとレーニングを行い、みる力が育つよう支援します。          作業療法士による評価(JMAP・感覚プロフィール・視)</p>			
	認知・行動	<p>通所時の天気や気温、日付の把握と確認、時間帯ごとの活動を示すタイムテーブルを活用して見通しを持たせたり、季節や時間の認知を形成したりします。          おさんぼなどの外出活動を通して季節の変化への興味や、交通ルールを守る事の大切さや意識を形成します。          小集団活動の中で音楽やリズムを使って五感を刺激したり、ゲーム活動ではルール守ったり協力したりすることで楽しかった経験を積めるように支援します。</p>			
	言語・コミュニケーション	<p>はじまりの会、終わりの会で今日の気持ち・振り返りを発表して言語表出・受容する場を提供します          小集団活動の中でこぼを用いたゲームの中でコミュニケーション能力の獲得を促します。          個別療育の中では言語聴覚士が言語評価を行い、その子の特性や発達状況にあった言語(読み書き・構音など)プログラムを作成し支援を行います。          PECS(絵カード交換式コミュニケーションシステム)を用いてコミュニケーションの意欲や獲得を促します。</p>			
	人間関係・社会性	<p>小集団活動の中でSST(ソーシャルスキルトレーニング)を取り入れ、適宜見本を見せたり必要な手助けを行いながら社会性の向上を促します。          小集団・個別療育の中で大人や他児と遊びを共有することで人間性や社会性を育てます。          ごっこあそびやルールのある遊びの中で役割を与えるなど達成感や自尊心を高めることができるよう支援します。          自由遊びやクッキングなどで自分と他児の好みの違いを知り自己と他者違いや共通点に気付けるよう支援します。</p>			
家族支援	<p>毎回の活動後に保護者への振り返りを行い、活動中での成長や課題を共有します。その際家庭の様子などもお聞きしながらアドバイス等を行います。          特性理解のための講座、ペアレント・トレーニングを実施します          茶話会の実施や待合室での保護者同士の関わりの場提供します。</p>				
移行支援	<p>移行先(保育園・幼稚園・学校・医療など)へ、子供の状態・保護者の意向・支援方法を伝達します          ご家族への情報提供(検査結果など)や転勤先などへの情報提供を行います。          並行利用先との情報や支援内容の共有、並行利用日数や利用時間等を調整して支援します</p>				
職員の質の向上	<p>社会福祉協議会等が開催する研修へ積極的に参加します。          WEB研修(リタリコ)を活用して職員の知識向上を図ります。          事業所内での研修(療育会議)や外部で実施されている研修に参加し知識と専門性を高め質の高い療育が実施できるように取り組みます。</p>				
地域支援・地域連携	<p>保育園、幼稚園、学校や医療機関等との情報連携、支援方法や環境に関する相談援助などを行います。          個別支援計画の作成または見直しに関する個別支援策定会議を開催します          虐待防止委員会を設定し、事業所内や家庭で虐待が疑われる場合には、児童相談所等への情報連携を行います。</p>				
主な行事等	<p>季節のカレンダー制作で季節毎の行事やイベントを意識できるように取り組んでいます。          夏はプールや水遊びを行い、全身を使った感覚遊び(小麦粉・片栗粉・どろんこ)を行います。          親子で参加できる行事(秋祭り・日曜療育・クリスマスなど)を季節ごとに実施します</p>		<p>毎月、誕生児のお誕生日会を行います。          事業所外への遠足や買い物イベントを実施します。</p>		